

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

May 2013

Écoutez Bien Vol.31 No.342

5

New! 多摩てばこネット



根川の桜

今年も根川の桜がみごとだった。
開花が早く、三分咲き、
五分咲きと言っている間に、
圧倒されるような満開に。
ところで根川の桜ってどの桜のこと？



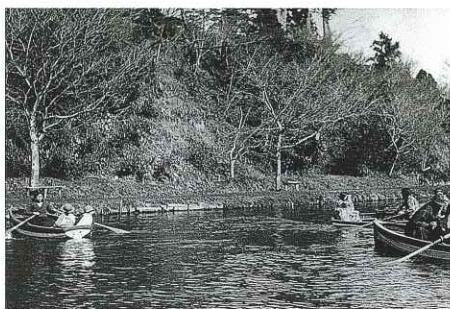
立川公園野球場北側 古木に満開の桜



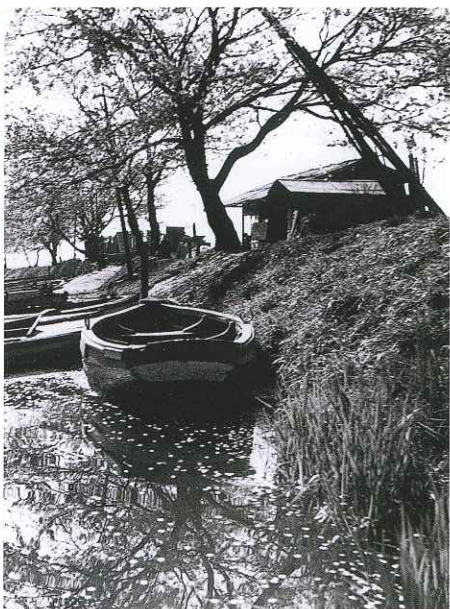
芝田時次さん
根川と府中用水の合流地点で



昭和十六年 根川堤
右奥は日野橋



昭和十五年 さくらボートの様子

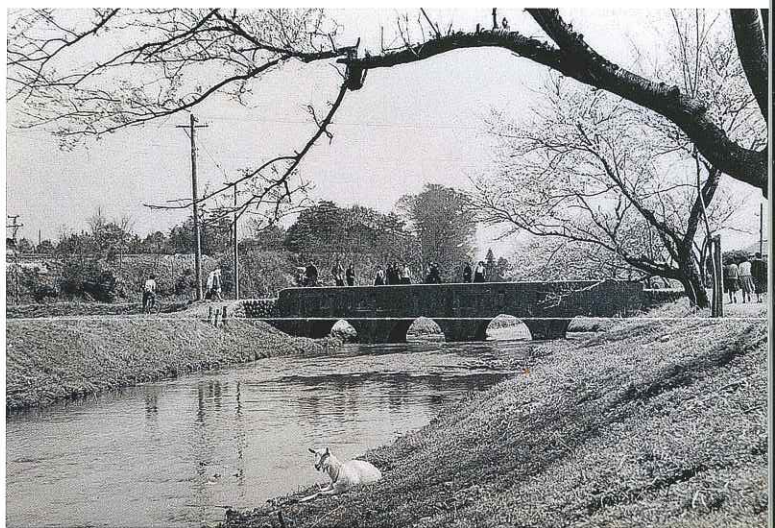


昭和十六年 遊船ボートの様子

残堀川と根川の違いがむずかしい。現在の根川緑道のせせらぎ(平成4年と5年に造成)を昔からの根川と思っている人もいるに違いない。こんな小さな流れでどうやってボートを漕いだの?と尋ねられたこともある。そこで柴崎町や富士見町の歴史に詳しい芝田時次さんと鈴木功さんに話を聞いた。

鈴木さんによれば「根川は古い時代に形成された、立川や昭島に連なる河岸段丘の崖下湧水を主な水源とする川で、残堀川は、明治の末頃、武蔵村山方面から砂川を通り立川へと開削された人工的の河川で、河岸段丘の旧字名「滝の下」で根川と接続された川。それまでは玉川上水に流入していたものを砂川一番から現在の場所へ新たに開削した川」だそうだ。現在崖下部分に流れる残堀川が旧根川であり、普段はあまり水量は多くないが、一度大雨が降ると各所から道路排水などが流入、増水する。年代を追って川の変遷を覚えてもらってわかったことは、昔の根川の面影は立川市営野球場近くに残すのみということだった。

「根川の話をするには崖線の話をしなくてはならない。青柳段丘や立川段丘の話をして、根川の桜を植えた区分の話も段丘の上にある集落と根川との関係を確認しながら話さなければならぬ。一番いいのは全コース歩いてみるということなんです」ということで、昔の話を聞きながら、芝田さんと一緒に全行程を歩く。83歳、健脚だ。「根川じゃね、桜の咲く頃にボート遊びを



昭和30年 鈴木功さん撮影 琴帯橋付近

するのが盛んでね。普濟寺の下辺りに根川を塞ぎ止めて作った「遊船ボート」っていうのがあってね、その上流に田圃を深さ1mくらい掘って溜め池をこしらえた『さくらボート』っていうのがあったの。記録には昭和5年頃から9年までとなっているけれど、私は小学校の時にカバンも下ろさないで遊船ボートへ遊びに行った記憶がある。ボートの中の水を柄杓で汲み出すとね、何艘かやるとそのご褒美で10分ボートへ乗っていいぞなんて言ってくれてね。私は競争用のボートが好きでね。そんなことして遊んだ覚えがありますから、9年ではなくもっと長くやっていたと思いますよ。」確かに、昭和12年頃の地図をよく見ると、根川にボートのマークが入っている。

鈴木功さんの撮影した琴帯橋付近の写真。市役所から昼時に根川の桜を見に来た人たちが、橋の上に集まる様子がよくわかる。時間のゆったり流れる昭和の立川だ。

野球場北側に行ってみるといい。大正時代に植えられた桜の古木が、根川の流れに美しい。

立川の未来

立川の北と南の顔で話そう

北と南の呉服屋さん。

立川市商店街振興組合連合会の理事長と副理事長が、

刻々と変化する立川の商売を語ります。さて、どんな未来が見えてきますか?



中里 晋さん [株式会社 中晋 代表取締役]

『ほっとすべーす 中屋』は大正11年創業の呉服屋さん。強制疎開で北口から南口に移りました。ご自分の育って来た環境への反動か、子どもたちのために夏休みなどはたっぷりと一緒に遊んできた良きお父さんでもあります。立川市商店街振興組合連合会副理事長(立川南口商店街連合会会長)。

——丸屋さんは創業何年を迎えられたのですか?

伊藤 うちは明治33年創業だから、今年113年目に入りましたね。

中里 ちょうど1代違うんですよ。私の祖父が、丸屋さん初代の時に奉公に行った。だから伊藤さんが4代目、私が3代目。

——昔は家まで呉服屋さんに来てもらうのが普通でしたよね?

伊藤 修行から帰って来て、しばらくはそういう外回りっていうのがあったけれど、今はなくなっちゃったね。

中里 修業先で「床の間を背にして商売できるのは呉服屋だけだ」って言われたのは忘れもしない。

伊藤 酒屋さんも米屋さんクリーニング屋さん、勝手口からだけど、呉服屋は招かれて玄関から入って、床の間を背にするんだから。

中里 最近はお客さんの層も極端から極端になってきましたね。店に入ってきてすぐ「あ、これ川越唐棧ね、あるんだ〜」なんて言う人もいれば、着物の常識を知らないで自由な着方をする人もいますよ。慣習だ、常識だなんて一切言わないですけど。

伊藤 私も言わないでしょうねえ。ただ、お客さんに聞かれた時には正しいことをお伝えします。甥の結婚式に小紋で出たいという場合は、甥っ子さんなら普通は留袖か色留ですよって。そういう話をしておかないと、小紋でもいいとあの呉服屋が言ったとかいうことになるでしょ。

中里 まったくそう。聞かれたら慣習、習慣、ルールを伝える。正装っていうのは未婚なら振袖、既婚なら紋付に裾模様って。それを袖でもいいなんて言っちゃあね。

伊藤 でも言っちゃう店もあるみたい。

中里 そりゃいいかげんなこという所もあるよ(笑)。

伊藤 売らんがためにね(笑)。呉服の話ばかりで恐縮だけど、今は街なかから染物屋が消えちゃって、当初はうちでご購入いた

いたものはしみ抜き、染めかえでも寸法直しでもしますよっていうことだったんだけど、よそで買われたものも引き受けざるをえなくなっているんですよ。リスクはあるんですけどね。

中里 染め直しもその判断をうちがやらなきゃならない。リスクですよ。履物もそう。立川には履物屋がなくなったから、かかと直しもそう。

伊藤 専門店が苦しい状況になってきて、廃業に追い込まれる時代だから仕方ないんですがね。北口に来年IKEAができるでしょ。再来年にはららぽーと。2極化だという説もあるけれど、ららぽーとに車で行ってしまったら、駅前にお客様は戻らない。買物して食事して終わりですから。街への回遊性なんて考えられない。駅周辺中心市街地の空洞化が怖いです。

中里 もうIKEAもららぽーともできることがわかっているのに、実際何もしていない我々にも責任はありますよ。でも最初IKEAの出店に関する交通対策で呼びかけられて、1年経たないうちにららぽーとでしょ? IKEAならアイテムが家具、雑貨関係だからまだしも、ららぽーとは総合ですから……。そうなったらもう無理。壁に突き当たったというか、手に負えない。

インフラの話は明日決めても稼働するのは10年先なわけだから、何年後はこうなるとか具体的に話し合っていないきゃダメですよ。私たちが街づくりと商店街のことを混同していた。商店は商店そのものに売り上げがあって、良くならないとダメなんです。

——街づくりと商売は違うものだという事ですか?

伊藤 そう。それが中里さんが祭りパレードを中止にしたひとつの理由だね。実際、商店の人間がパレードのガードマンや交通整理にかり出されてお店を閉めていては、人はパレードに集まるけれど、「商店が潤って活性化」ということにはつながらない。

中里 本当は私だってパレードやってもらいたいんだよ、NPOとかで。

伊藤 実行委員会でいいんだよ。

中里 そうそう。フラメンコだってね、やって欲しいんだけど、その日だけやるんじゃなくて、恒常的にそういう下地があってね、この街はフラメンコの街なんだってお客さんに認識してもらって商店が潤うことが大事なんだよ。

伊藤 商店街の中にも自分の商売のことしか考えていない人いますよ。でも自分の店が良くなるも良くならないも、商店街にお客さんが来てくれなきゃ始まらない。不動産管理だって、街が良くならないとテナントが入らない。駅前であることだけに甘えてちゃいけないよね。

それでもまだ南口は結構夜の人の出があるでしょ。北は飲食が苦戦しているんじゃないかな。

中里 南はね、市役所も合同庁舎もなくなって、地元が声を上げなきゃ自分たちの死活問題だよって言ってもね、なかなか実際には危機を感じていない。子ども未来センターとまんがパークがオープンしたけど、どうしても活性化のために声をあげて努力しないのかって思うんだよ。

伊藤 北もね、IKEAができる、ららぽーとができるって言っても、みんな意外に疎いよね。今でこそだいぶ認識してきたけれど、以前はIKEAのできる場所さえ把握できていなかった。

中里 南口はね、小澤さんの先代(入船)や吉田さんの先代(丸万)が尽力してくれて、今の私たちがあるって、私は本当にそう思うんだよ。先輩たちが街をこうして作って来てくれたおかげでね、今がある。あの人たちが頑張ってくれなかったら、一介の呉服屋で家族5人食べて行けなかったかもしれない。だからお世話になった方の息子たちが1人前になるまで力を尽くすのが、私の生

かされている意味だと思っているんですよ。

伊藤 今、ジンと来ちゃった。初めて聞いたよ。南口のために、親父を早く亡くしちゃった息子たちのためにね、育てるのが恩返しだと思って頑張るなんてさ。感動しちゃった。

中里 伊藤さんのところはさ、イベントやらなくたって、本体(伊勢丹)がお客を呼んでくれるからいいよ。本体に人が入れば、否が応でもお客さんは入ってくるでしょ。うちなんか、間違っって道を通っちゃって感じだよ。間違わなきゃ店には入ってこないよ(笑)。

伊藤 本体がお客を呼んでくれるのは間違いないけど、呉服は厳しいですよ。だから和雑貨とか草履も扱っています。最初親父に叱られたけど。でも、中里さんには休みがあるけど、うちには休みがない。趣味も仕事。ゴルフもやらなくなった。先日すごく久しぶりにお付き合いでゴルフに行ったら、びっくりしたよ。こっちは服装がジャンボ尾崎なのに、みんな石川遼なんどもの(笑)。

中里 (笑) まあ、商売は商人が考えるけど、行政に街づくりのハード部分は考えてもらわないとむずかしいよね。

伊藤 行政は商人の立場に立たないから頭に来るんだよ。駅前のアーチの色ひとつにしてもね、意見書は出しましたけどね。

繰り返しになるけれど、何より空洞化が怖い。立川は地方都市に比べれば個人店もまだいいと思っていたけれど、今後、IKEAやらららぽーとと共存はできない。どうやって駅前に人を戻すかを考えなければならなかった。

中里 個店に来てもらう努力が必要だよ。立川はいろいろな面で恵まれてきたことにあぐらかいていた。これからの南口は、IKEAやらららぽーとと共存できればと考えています。その意味で、来街者の胃袋をまかなう街として「たち☆コレ」企画も実施したし、食べるだけでなくモノを売るという点では、「街ゼミ」をもっと浸透させていきたい。技術を知ってもらって、モノを売っていく企画です。実際、ひとつ立川と言えども、南と北と同じじゃないと思うよ。

伊藤 住民のための商店街ね、まさに羽衣町とか栄町4丁目、富士見町や柏町などの商店街はそういう必要性をもった商店街ですよ。でも、ららぽーとができてそれらの

商店街が廃業を迫られれば、それこそ買物弱者を産み出しかねない。これから高齢化社会を迎えて、どこで買物をしたらいいのか、日常の買物に困る人が出てくる……。

大型の郊外店は餌を求めて彷徨う動物と同じで、食い尽くせば離れて行ってしまうものでしょ。対して地元商店街は、土地に根を張って生きる植物だから、駅前だけでなく立川市全体を広く見た時、こちらからの要望はきちんと出していますが、行政はこれからの立川をどう考えているのか、それを聞きたいですね。



伊藤良三さん [趣味の呉服 丸屋本店 代表取締役]

立川村十二景に描かれている丸屋は強制疎開で現在のビックカメラの辺りに移動。そこで育ち、商売を覚えたそう。最近片付けものをしていてお姉さんの母子手帳を発見。自分には姉がいて、姉が生まれていれば自分はこの世にいなかったんだな...と思われたのだとか。立川市商店街振興組合連合会理事長。

【注釈】

「たち☆コレ」→ 立川南口商店街連合会が主催するまちなか食べ歩きフードバトル企画「たちコレ 立川フードコレクション」のこと。54店舗がエントリーして、2月1日から各店一押しメニューを販売。インターネットによる投票で、3月20日に結果が発表された。
「街ゼミ」→ お店の人が教えてくれる、得する街のゼミナール。商店街の店主が講師となって、それぞれのお店の個性や魅力、技術を教えてくれる。

お待たせしました! 多摩てばこネットです。

時空を越えて、すべてをつないで頑張ります。

立川発の発信サイトとして10年。試行錯誤の連続でした。
この度、JR東日本八王子支社管轄の線路をお借りして、
街と街、人と人とをつないでいくサイトとして生まれ変わりました。

www.tamatebakonet.jp



甲府地区の入口です。
駅長をクリック!

東は吉祥寺から西は小淵沢まで。南武線も武蔵野線も八高線も、時折バスやモノレールにも乗りながら、街を紹介し、人を紹介し、昔を振り返り、未来に期待してつないでいくのが多摩てばこネット。4月25日がオープンです。どうぞ、そのすばらしい日にワンクリック! よろしくお願ひ申し上げます。

街に着くと出迎えてくれるのは駅長さん。駅長さんの語りから、多摩てばこが街の中で見つけた面白いことやおいしいものをご紹介。ある時は味、ある時は風景、ある時は職人、ある時は先生! インタビューもスポーツもカルチャーも、カード形式で抜き出すだけ。探さなくても大丈夫。誰でも簡単に使えるように構成しました。もちろんスマホからも見られます。どうぞ遊びに来て下さい。



川内優輝さんのインタビューは複数あります

八王子地区の入口です。
駅長をクリック!



昭島駅
川上隆
駅長



春のダイヤ改正の
主役です



立川地区の入口です。
駅長をクリック!



武蔵小金井駅
三浦徳之
駅長



国分寺駅
小池茂幸
元駅長



三鷹駅
井上憲司
駅長



立川駅
勝又勤
駅長



豊田駅
初野光男
駅長



府中本町駅
宮崎幸利
駅長



武蔵小金井で
見つけたすてきな
雑誌「き・ま・ま」
編集部



えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 曙町・羽衣町・錦町 のお店です。

曙町

羽衣町

錦町

ダイエー 立川店525-0331
手打ちそば しゅ もと529-5468
シンパン522-6211
天ぶら わかやま525-0222
カツカツ わかやま528-1654
多摩水族館524-0288
すし 魚正522-3437
園部肉店522-2901
Cut Studio SOFIA528-3241
立川市女性総合センター アイム528-6801
エミリー・フローグ 高島屋立川店526-9788
立川高島屋 ギフトサロン525-2111
オリオン書房 ノルデ店522-1231
JTB 法人東京 西東京支店521-5550
元祖つけ麺 味幸527-4701
鉄板焼 千珠529-6787

緑専専門店 プリムベール528-6789
たましん 東立川支店524-0611
ギリシャレストラン SHUPOUL519-3923
林歯科医院522-5657
中島豆腐店522-5732
新鮮野菜・惣菜 立川商店522-3565
本・事務用品 泰明堂522-3353
本と文具のないう522-3677
赤松タバコ店524-7852
まごころ銘茶 狭山園527-0146
美容室ヒロイン 紅526-0018
お好み焼ともんじゃ焼 こけし526-1267
鉄板 Daining Restrant Archange528-2904

めがね・とけい・補聴器 カワハラ525-4427
鳥料理くし秀522-7692
イタリア料理 トラットリア ドンシェ512-8735
御菓子司 やな瀬522-3969
宮地楽器 MUSIC JOY 立川南526-1779
中国料理 五十番522-7472
一六珈琲店527-1680
手づくり材料専門店 北島こうじ店524-3190
New gyoza1059 餃子天国526-2283
イタリアンダイニング asa529-5668
バー パルアラディ523-3917
H.works521-2721
CAFÉ SOMMEILLER527-1440
食堂 marumi-ya528-6226
手打ち蕎麦 なかさと524-5758
中国整体院529-1088
中国菜館 多味軒526-5925
カフェといもの penta merone529-5221
日本クッキングスクール522-3440
元祖5本指ソックス専門店 LASANTE540-1616
ザ・クレストホテル立川521-1111
美容室アリス525-1100
パンと洋菓子 うちのやブルマン524-9280
無門庵ギャラリー529-2323
FALCO hair528-2389
諸官公庁御用達・日用雑貨 池田屋522-3731
N HAIR WORLD523-5336
しゃぶしゃぶ・鍋料理 しゃぶ・りん527-2228
TTM (株)524-5787
スペイン料理 TAPAS529-0733
Bakery Café Crown526-2226

jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我淨〉

スカパー! : 216ch

スカパー!で放送の常楽我淨は
スマートフォンアプリ「Ivy」(無料)で視聴できます。

マイテレビ : 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

帰国しました!

一昨年11月25日に日本を出発した第53次越冬隊と昨年11月25日に日本を出発した第54次夏隊が、3月20日成田に到着、帰国しました。2年連続になる昭和基地への接岸断念を決定せざるを得なかった今年。輸送に関しては予定通りにいかないことばかりだったそう。越冬隊だったパパ。1年4ヶ月も会えなかったんですもの、感激ですね!



成田空港で

立川は学術都市?

緑町にある国立極地研究所では『サイエンスカフェ』を行っています。今回は「南極隕石からわかること」というテーマで、先頃話題になったロシア隕石についてのお話から始まりました。また国文学研究資料館では、東日本大震災から2年を経て、津波被害と文化遺産についての展示に関連した報告会も行われました。基調報告として東京国立博物館の神庭信幸さんがお話されました。こうした日本を代表する方々の貴重なお話を聞けるのも、立川ならでは!



サイエンスカフェの様子 極地研サザンクロスで



国文研の報告会の様子 写真は神庭信幸さん

すごく大事なことです!

3月14日、国立市にある高齢者福祉施設4団体が、立川消防署、国立市の関係者臨席のもと、災害活動相互応援協定を締結しました。高齢化社会と言われる今、福祉施設の利用者は増え続けています。この度は国立あおやぎ苑、あるふあ国立、シルバーハイッソ谷保、くにたち苑がお互いに協力し合うことを確認。さらに3月18日には国立あおやぎ苑で、立川消防署や国立市消防団と共に、協定に伴う合同訓練も行われました。実際にこうした大掛かりな訓練をしてみると、いざと言う時のための課題が明らかになったということでした。訓練って大事ですね!



締結の様子



国立あおやぎ苑での合同訓練
こうした一時避難所の必要性も改めて確認

変わろう! 変わる! 変わった!

デッキのアーチがえび茶色に変わりました。赤なのかな~と思っていたんですが、ちょっと渋い。この色はおもてなしの色だそうです。すっかり形が無くなった第一デパート。今は南と北が、抜けてお互いよく見えます。変わろうとして、段々変わってきた立川ですが、この先、どうなっていくのでしょうか?



消防署、消防団、がんばってます!

春は火災予防のシーズンです。日ごろから地震や火災に対する認識を深めることで、いざという時大切な命を守ることができます。3月9日(土)には消防署敷地内で立川消防フェア2013を開催。立川消防署、第八方面消防救助機動部隊、航空隊、立川市・国立市消防団、立川消防少年団、東京消防庁災害時支援ボランティア、自主防災市民組織の方々総勢119名が参加した消防演技は圧巻でした。また3月15日(金)には真如苑 応現院にて総勢70名が参加する大掛かりな消防訓練も行われました。日本に数台しかないという大型救急車〈スーパーアンビュランス〉も出動、壮観でした。



応現院での消防訓練(泉町)



消防フェアでの一斉放水(泉町)

今や超有名店!

おじゃましませ〜す! [14] 和菓子 井筒屋

2006年4月号のえくてびあん「立川和菓子ものがたり」で井筒屋さんのあんドーナツを掲載しました。あの頃お店にうかがうと、「緑川通りに松林があった頃、その中でよく遊んだんだ」と話してくれたご主人。お元気でなによりです。和菓子屋さんのあんドーナツはパン屋さんのそれとは違います。小振りで素朴な味がします。



昔懐かしく感じるのは、渋を抜かず煮た餡のせいでしょうか。井筒屋さんのある曙町シネマ通りは、個性的なお店の集まる通り。アニメの舞台にもなって、今や立川で一番人気の小道です。酒まんじゅうを買ったこの日、酒まんはありませんでした。「いつなら酒まん買えるの?」と聞けば、ご主人「あんドーナツが落ち着かないと酒まんじゅうは作れないね〜」本当に人気のあんドーナツ! 他のおまんじゅうも、お赤飯もおいしいのにな〜。



〒190-0012
立川市曙町2-28-11
TEL 042-522-4433
営業時間 8:30~19:00
定休日 月曜日

表紙の人

荻田ともさん 直治さん 直樹さん

荻田さんは刀剣研師。刀鍛冶は5年、でも刀の研ぎの修行は10年かかります。修行を終えたばかりの直樹さんも、刀剣研師として独立しました。ともさんは今年97歳。はっきりした口調で、ご自分のなさってこられた骨董商の話をしてくださいました。

かたこと

◆表紙に登場いただいた荻田さん。2008年に取材させていただきました。本阿彌流の刀剣研師で、そのお話の中に「師に対して疑いの目を持つと修行は続けられない。師が白を赤と言ったら、それは黙って聞いていけばいい。やがてなぜ赤と言ったかがわかってくる。自分の常識が先行すると黙ってられない。赤ではない、白ですと言ったらそこで修行は終わりです」という言葉が忘れられません。息子さんが無事修行を終えられた。それは本当にすごいことです。◆3月28日、立川断層について改めて東大地震研究所の記者会見がありました。断層誤認だそうですが、いろいろなことを経てわかっていく事実。未来のために頑張ってくださいと思います。◆南北対談は面白かった。紙面の都合で全部掲載できないのがとても残念です。昔懐かし商店街は、本当に姿を消してしまうのでしょうか。寂しいですね。◆根川のことを調べていたら、柴崎分水に話が及びました。6月号では生活に密着した小川についてお伝えします。◆立川はゆっくりと動いているようで、実は刻々と姿を変えています。歴史を振り返り、今を見据え、未来に明るい希望をもって、えくてびあんは今月も皆さまとともに語り合ってください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

えくてびあん◎

5月号 第31巻 通巻342号

平成25年5月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082
FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男
(WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。



小説『テロリストのパラソル』

藤原伊織 著

コワモテの一見客ふたり連れは、その小さなバー“吾兵衛”のカウンターに座るなり言った。

「狭いですね」

「ああ、狭いな。しかもうす汚い」

店にメニューはない。酒のつまみといえば、ホットドッグだけ。ふたり連れの片方が言う。「世も末だな。チンケなバーもあったもんだ。ホットドッグとはな」

雇われマスター島村はフライパンにバターを溶かしソーセージを炒める。その後、千切りキャベツもフライパンに投入し、塩コショウ、そして隠し味にカレー粉を振りかける。パンに挟んだら、オーブンで表面を焼き、ケチャップとマスタードを垂らしてできあがり。

例の客が言う。「簡単なものほどむずかしいんだ。このホットドッグはたしかによくできている」

島村圭介は自分の過去をかくし、名前を変えてひっそりとここ新宿で20年以上生きてきた。しかし。公園での爆弾テロに遭遇してから生活が一変。事件に巻き込まれてゆく島村が見た思いもよらない事実とは……。

乱歩賞&直木賞のW受賞となった『テロリストのパラソル』は、言わずと知れた35万部の大ベストセラーであるが、残念ながら作者はすでに病気で亡くなった。読めばむしろに食べたくなる“吾兵衛のホットドッグ”。自分で作ってビールを注ぎ、作者に乾杯を捧げるとしよう。

「面白い小説だ。たしかによくできている」

八子美穂（立川在住）